

1 条例の対象施設（条例第2条第1項）

- ア 物品販売業を営む店舗
- イ 飲食店
- ウ 映画館、劇場又は観覧場

※これらに類する用途で規則で定めるもの
現在は規則での定めをおこなっていない。

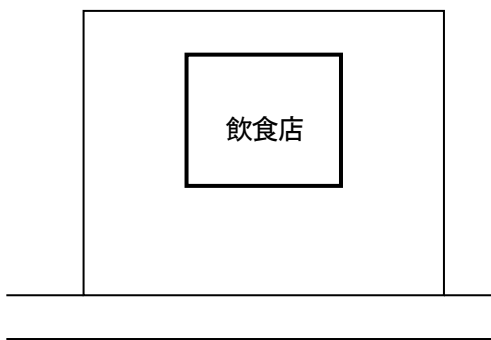
2 条例の対象施設の規模（条例第2条第1項、規則第2条）

(1) 対象施設の規模

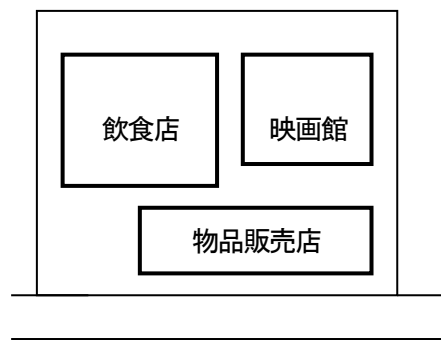
対象施設の規模は、1,000㎡を超えるものとする。

〈大規模集客施設のとらえ方〉

① 1の建築物

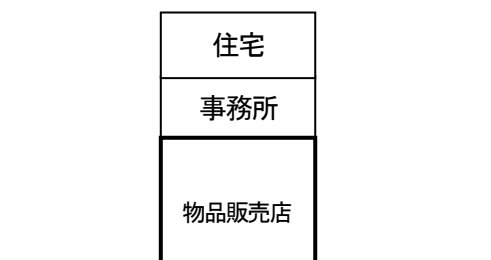


② 複数建築物

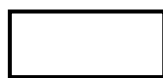


※複数建築物が一体的な機能を有しているときは、全体を1施設ととらえる。

③ 複合建築物



④ 複合・複数建築物



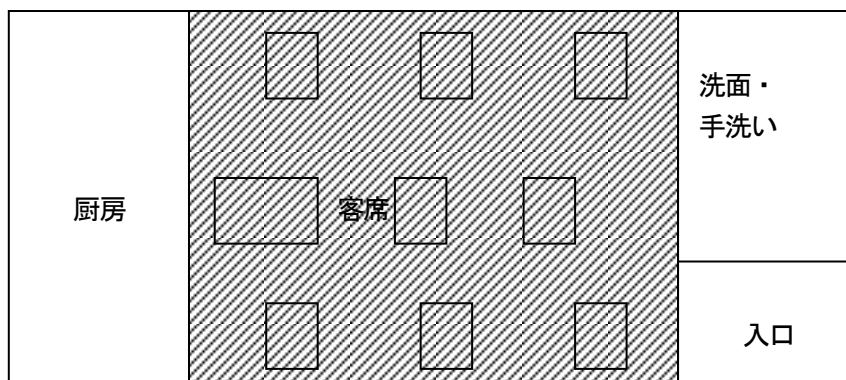
この部分の売場面積（物品販売店）及び客席の面積（飲食店、映画館）の合計が1,000㎡を超えるものが「大規模集客施設」に該当する。

(2) 用途に供する部分の床面積の範囲

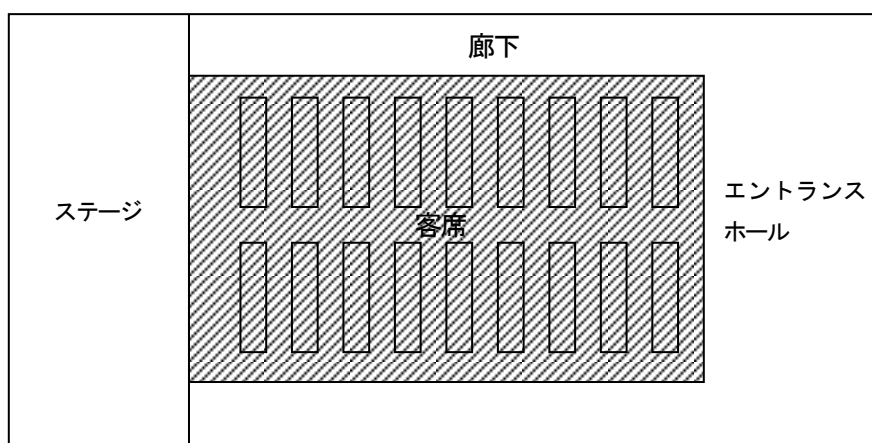
- ① 物品販売業を営む店舗
直接物品販売の用に供する売場部分（階段、エレベーター、便所、事務室等の部分を除く。）
※ 大規模小売店舗立地法の店舗面積算定方法と同じ。

- ② 飲食店、映画館、劇場、観覧場
飲食又は観覧のための客席がある部分（階段、エレベーター、便所、事務室、飲食店の厨房、映画館のエントランスホール等の部分を除く。）とする。（下図斜線部分）

【飲食店】



【映画館】



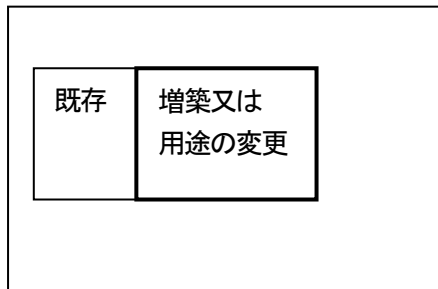
3 「大規模集客施設の新築等」の定義（条例第2条第2項、規則第3条）

大規模集客施設の新築のほか、既存の建築物の増築又は用途の変更で、これにより周辺の都市機能に与える影響の変化量が従前と比較して新築と同程度となる場合は条例の対象とすることとし、次の場合を「大規模集客施設の新築等」に該当するものとする。

(1) 大規模集客施設を新築する場合



(2) 既存の建築物の増築又は既存の建築物の全部若しくは一部の用途変更で、当該増築又は変更にかかる部分が大規模集客施設の用途、規模に該当する場合



この部分が大規模集客施設の用途、規模（床面積 1,000 m²超）に該当する場合に条例対象となる。